

## 抗ウイルス性試験／結果の見方

2.0 > Mv / 効果が認められない

### ● 基準値

ISO 18184 の附属書G (参考)、SEKマーク認証基準では基準値が設定されています。

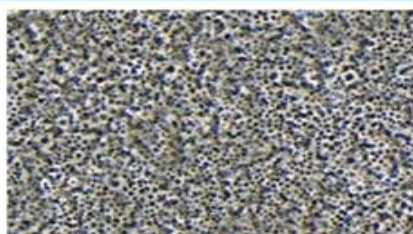
規格・基準	抗ウイルス活性値 Mv		備考
ISO 18184	$3.0 > Mv \geq 2.0$	Small effect	効果が少ない
附属書G (参考)	$Mv \geq 3.0$	Full effect	効果が高い

### NEO・ZONEの抗ウイルス効果

試験対象／NEO・ZONE	抗ウイルス活性値	評価
A型インフルエンザウイルス	4.6	Full effect / 効果が高い
ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替)	3.0	Full effect / 効果が高い

#### A型インフルエンザウイルス

ウイルス： A型インフルエンザウイルス (H3N2) ATCC VR-1679  
 宿主細胞： MDCK 細胞 ATCC CCL-34



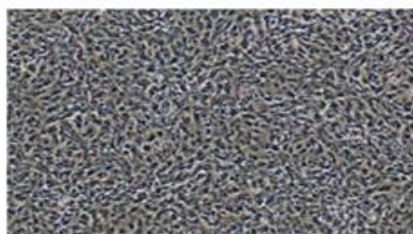
ウイルス感染前の MDCK 細胞



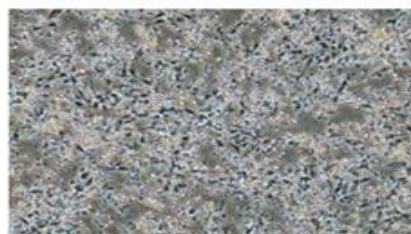
ウイルス感染後の MDCK 細胞

#### ネコカリシウイルス (ノロウイルス代替)

ウイルス： ネコカリシウイルス (F-9 株) ATCC VR-782  
 宿主細胞： CRFK 細胞 ATCC CCL-94



ウイルス感染前の CRFK 細胞



ウイルス感染後の CRFK 細胞